

第7回衛生工学研究討論会

▶ 1月30日(土)~31日(日) ◀

下記により標記シンポジウムを開催いたします。今回の研究討論会は1講演に対し前もって選出した1~2名の討論者による当該講演についての討論原稿をあわせ集録し、これにより当日の討論をより活発にすることにいたしました。斯界研究者、技術者の方々の多数ご来場を希望します。

1. 期 日：1971年1月30日、31日の両日
2. 場 所：九州大学工学部（福岡市）
3. 参加費：無料
4. 講演論文集：1500円程度の見込

第1日：1月30日(土)

- |                 |  |                            |
|-----------------|--|----------------------------|
| 11.00~11.10     | 開会あいさつ                                     | 九州大学 粟谷 陽二                 |
| 11.10~11.20     | 幹事あいさつ                                     | 東京大学 杉木 昭典                 |
| 11.20~12.00 (1) | 集水暗きょ取水量の解析                                | 九州大学 上田年比古・○松尾 哲           |
| 12.00~13.00     | 昼 食 休 憩                                    |                            |
| 13.00~13.40 (2) | フロック形成過程の数値設計に関する研究                        | 北海道大学 丹保憲仁・○渡辺義公           |
| 13.40~14.20 (3) | 薬注らせん板沈での沈でん効率                             | 中央大学 林 泰造・○板倉 徹            |
| 14.20~15.00 (4) | 砂ろ過処理能力の弾力性に関する基礎研究                        | 京都大学 末石富太郎・○住友 恒           |
| 15.00~15.40 (5) | 配水本管網の経済的設計法                               | 北海道大学 高桑 哲男                |
| 15.40~16.00     | 休 憩  |                            |
| 16.00~16.40 (6) | 湿式酸化法の研究(第2報)一田子の浦ヘドロとシアンと金属イオンを含む活性汚泥の酸化— | 東京大学 近藤準子・斉藤 隆             |
| 16.40~17.20 (7) | 汚泥の嫌気性消化法に関する動力学的解析について                    | 早稲田大学 遠藤郁夫・金成英夫・八戸工専 ○阿部正平 |

第2日：1月31日(日)

- |                  |                                    |                                      |
|------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 9.30~10.10 (8)   | 活性汚泥の環境への適応と核酸量の変化                 | 公衆衛生院 金子 光美                          |
| 10.10~10.50 (9)  | 散気式エアレーションタンクの酸素移動(第2報)            | 建設省土研 柏谷 衛・○安中徳二・及川直地                |
| 10.50~11.30 (10) | 乱れの構造に関する研究(第2報)                   | 東京大学 ○松尾友短・太田 博・野間一夫                 |
| 11.30~12.10 (11) | エアロゾル粒子の荷電平衡とその粒度分布測定への応用          | 京都大学 高橋幹二・工藤 章・児島 猛                  |
| 12.10~13.10      | 昼 食 休 憩                            |                                      |
| 13.10~13.50 (12) | 海面下における液体廃棄物上ブリュームの分岐拡散            | 中央大学 林 泰造                            |
| 13.50~14.30 (13) | 臨海工業地先海域における環境保全に関する研究             | 公害資源研 江村富男・鬼塚正光・石川公敏・松尾 信・太田一之・中田喜三郎 |
| 14.30~15.10 (14) | 富栄養化および毒性物質を主体とした汚濁源調査(海域汚濁に関する研究) | 山口大学 ○中西 弘・浦 勝・浮田正夫・池田成志・公害資源研 松尾 信  |
| 15.10~15.20      | 休 憩                                |                                      |
| 15.20~16.00 (15) | 都市域での雨水損失機構の検討                     | 建設省土研 松原重昭・○横尾符位                     |
| 16.00~16.40 (16) | 滞水地の有効性の評価(水量制御の側面について)            | 建設省 稲場紀久雄                            |
| 16.40~17.00      | 第7回衛生工学研究討論会について                   | 土木学会衛生工学委員会委員長 寺島 重雄                 |

5. 懇 親 会：会期中下記により懇親会を開催いたしますから、参加ご希望の方は官製はがきによりあらかじめ衛生工学委員会宛お申込み下さい。
  - (1) 日 時：1月30日(土) 18.00~19.30
  - (2) 場 所：九州大学工学部
  - (3) 参加費：1500円(当日会場でいただきます)

第5回土木計画学シンポジウム

▶ 1月29日(金) ◀

今回のシンポジウムは、土木計画学の体系化への一環として、前回の現象システム研究に対し、評価システムを主題とします。今回のおすすめ方は、川崎市上水道、苫小牧港、中央道、相模川、新都市などの完成しているものに対し、土木事業の計画から運用に至るまでの1ラウンドを具体的に討論し、その中から評価システムを解明してゆこうとするものである。

前回同様、討議に十分時間をかけ、討議の内容もプロシーディングスに収録しますので、各位ふるってご参加下さい。

土木計画学研究委員会

1. 期 日：1971年1月29日(金)

2. 時 間：9.30～17.00
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目無番地／国電・地下鉄四ツ谷駅際外濠公園内／電話 03-351-5130 番）
4. 主 題：土木計画の評価システム
5. 申込方法：参加希望者は、官製はがきに、①氏名、②所属官職名、③連絡先、郵便番号、住所、所属、電話、④会員区分、⑤連絡事項、を記入のうえ、1971年1月20日までに下記あて申込んで下さい。参加票をお届けします。  
〒160／東京都新宿区四谷1丁目無番地 土木学会事務局編集課
6. 参加費：会費 1500円、会員外 2000円  
ただし、前副代およびおって発刊される“第5回土木計画学シンポジウム”プロシーディングスの図書代を含みます。参加費はシンポジウム当日、必要事項記入済の参加票と同時に受け付けて徴収します。
7. 定 員：一般 80名
8. 備 考：不明な点は電話でお問合せ下さい。

## 第15回水理講演会

▶ 2月12日（金）～13日（土）◀

標記講演会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1971年2月12日（金）～13日（土）
2. 会 場：発明会館（東京都港区芝西久保明舟町17、地下鉄虎の門下車徒歩3分）
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. 参加費：聴講無料
6. 講演集：当日会場にて実費頒布
6. プログラム

第1日：2月12日（金）

- |             |                                 |                       |
|-------------|---------------------------------|-----------------------|
| 10.00～10.10 | 開 会 換 拶                         | 水理委員会委員長 林 泰 造        |
| 10.10～10.30 | (1) 粘土粒子を多量に含む流体の粘度と降伏値         | 大阪府立工業高専 大 同 淳 之      |
| 10.30～10.40 | 討 議 (1)                         |                       |
| 10.40～11.00 | (2) 開水路・河川における流砂量について           | 九州大学 椿 東一郎・○渡辺訓甫・平野宗夫 |
| 11.00～11.20 | (3) 流砂量と限界移動について                | 武蔵工業大学 王 方一           |
| 11.20～11.40 | (4) 流砂量および河床変動の実用的計算方法に関する一試案   | 電力中央研究所 ○浅田 宏・石川晴雄    |
| 11.40～12.10 | 討 議 (2)～(4)                     |                       |
| 12.10～13.10 | 昼 食 休 憩                         |                       |
| 13.10～13.30 | (5) 混合粒径河床の土砂移動（二疎混合の場合）        | 建設省土木研究所 土屋昭彦・○山本晃一   |
| 13.30～13.50 | (6) 混合砂礫の河床移動—armouring 効果について— | 京大防災研究所 芦田和男・○道上正規    |
| 13.50～14.10 | (7) Armor Coat の生成に関する研究        | 岐阜大学 河村三郎             |
| 14.10～14.40 | 討 議 (5)～(7)                     |                       |
| 14.40～14.50 | 休 憩                             |                       |
| 14.50～15.10 | (8) 拡幅をともなう流路変動について             | 九州大学 椿 東一郎・○平野宗夫・田中耕一 |
| 15.10～15.30 | (9) 沖積実験水路の抵抗法則について             | 徳島大学 ○杉尾捨三郎・築田哲男      |
| 15.30～15.50 | (10) 河川における縦渦列の発生について           | 中央大学 林 泰造             |
| 15.50～16.20 | 討 議 (8)～(10)                    |                       |

第2日：2月13日（土）

- |             |                              |                        |
|-------------|------------------------------|------------------------|
| 10.00～10.20 | (11) C.M.W. 展開（法）による非線型流出の解析 | 東京工業大学 吉川秀夫・日野幹雄・○鋤柄 徹 |
| 10.20～10.40 | (12) 降雨流出系のシステム関数の解析について     | 北海道大学 藤田睦博             |
| 10.40～11.00 | (13) 洪水予測における同定問題と適応制御について   | 東京工業大学 日野幹雄            |
| 11.00～11.20 | (14) 確率モデルによる浸透層内の流れの解析      | 京都大学 岩佐義朗・○武内 等        |
| 11.20～12.00 | 討 議 (11)～(14)                |                        |

## 河川災害に関するシンポジウム

▶ 2月13日（土）◀

第15回水理講演会終了後、水理委員会後援のもとに標記シンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時：1971年2月13日(土) 13:00~17:00
2. 会 場：発明会館
3. プログラム：

(1) 海外における災害報告

- |              |             |                |   |   |   |   |
|--------------|-------------|----------------|---|---|---|---|
| ○東南アジアの洪水災害  | {その1<br>その2 | 関東学院大学教授       | 安 | 芸 | 皎 | 一 |
|              |             | 建設省河川局         | 水 | 野 | 昭 |   |
| ○ドナウ河の洪水災害   |             | 京都大学教授         | 赤 | 井 | 浩 | 一 |
| ○東パキスタンの高潮災害 |             | NHK 外信部プロデューサー | 山 | 内 | 正 | 剛 |

(2) 国内における災害報告

- |                       |          |   |    |    |
|-----------------------|----------|---|----|----|
| ○昭和45年千葉県下集中豪雨による河川災害 | 東京大学教授   | 高 | 橋  | 裕  |
| ○昭和44年北陸豪雨に伴う黒部川の出水特性 | 芝浦工業大学教授 | 小 | 笠原 | 和夫 |

第9回原子力総合シンポジウム

▶ 2月15日(月)~16日(火) ◀

関連 34 学協会の共同主催、日本学術会議ほか5団体の後援で原子力研究を軸として専門分野を異にする研究者、技術者間の知識の交流および普及をはかる目的で標記シンポジウムを開催致しますので案内いたします。

1. 会 場：国立教育会館（東京都千代田区霞が関・地下鉄虎ノ門下車文部省南隣り）

第1日 2月15日(月) A会場(6階大会議室)

2. 内 容：(9:30 開会)

- |      |                      |               |   |   |
|------|----------------------|---------------|---|---|
| 開会の辞 | 運営委員長                | 山             | 本 | 寛 |
| 挨拶   | 原子力学会長               | 矢             | 木 | 栄 |
| 講演   | 1. (仮題) 原子力産業の最近の諸問題 | (10:00~11:00) |   |   |
|      | 2. 保障措置技術            | (11:00~12:00) |   |   |
| 映 画  | 明日の動力炉をめざして          | (13:00~13:30) |   |   |
| 総合講演 | 1. 多目的高温ガス炉の開発       | (13:30~15:30) |   |   |
|      | 2. 原子力圧力系の構造安全性      | (15:30~17:30) |   |   |

B会場(5階第1会議室)

- |      |                    |               |
|------|--------------------|---------------|
| 特別講演 | 3. 公害対策におけるR1放射線利用 | (10:00~11:00) |
|      | 4. 放射線によるプラスチックの改質 | (11:00~12:00) |
| 総合講演 | 3. 放射線遮蔽建設の経験と問題点  | (13:00~15:30) |
| 討論会  | わが国の大学関係原子力研究将来計画  | (15:30~18:30) |

第2日 2月16日(火) A会場(6階大会議室)

- |      |               |               |
|------|---------------|---------------|
| 総合講演 | 4. 高速炉用新燃料の展望 | (10:00~12:00) |
|      | 5. 大型軽水炉の運転経験 | (13:00~15:00) |
|      | 6. 軽水炉の出力向上   | (15:00~17:00) |

B会場(5階第1会議室)

- |      |                    |               |
|------|--------------------|---------------|
| 総合講演 | 7. 医学利用の動向         | (10:00~12:00) |
| 特別講演 | 5. (仮題) 廃棄物処理と海洋環境 | (13:00~14:00) |
| 総合講演 | 8. 原子力船            | (14:00~17:00) |

第8回理工学における同位元素研究発表会—論文募集—

共同主催者：応用物理学会・土木学会その他関連学会

会 期：1971年4月15日(木)~17日(土)

会 場：国立教育会館（東京都千代田区霞が関・地下鉄虎ノ門下車文部省南隣り）

論文発表:

(1) 内 容: それぞれの研究分野において、その専門的成果をうるにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、えられた専門的成果の報告も差しつかえありません。研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2) 発表申込み区分: プログラム編成の便宜上、つぎのように申込み区分を設けます。

- ① 放射線照射のための線源および装置に関するもの、② 放射線化学その他照射効果に関するもの、③ ラジオグラフィに関するもの(装置に関するものを含む)、④ オートラジオグラフィに関するもの、⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの、⑥ 放射線利用機器に関するもの(エネルギーの利用、発光塗料なども含む)、⑦ トレーサーの利用に関するもの(安定同位元素も含む)、⑧ 分析に関するもの(安定同位元素も含む)、⑨ 製造、分離、精製に関するもの(安定同位元素も含む)、⑩ 化合物の合成、標識化に関するもの(安定同位元素も含む)、⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの、⑫ 安全取扱いに関するもの(遮蔽、施設、設備、器具、健康管理を含む)、⑬ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの

発表者の資格: 発表申込者が所属する主催学、協会の年会(大会)等の規定または慣例に従う。

発表申込み: 所定の申込書(1件1通)によりお申込み下さい。所定の申込書は下記あて請求して下さい。

113 東京都文京区本駒込2丁目28番45号(理研内)

日本放射性同位元素協会内

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

電話 東京(03)946-7111 番(代表)

発表申込み締切: 1971年1月30日(土) 必着

講演要旨: 講演要旨を発行します。発表申込みがあり次第所定の原稿用紙(1200字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切: 1971年2月27日(土) 必着

つぎのいずれかに該当する場合には、発表をお断りしますから、ご注意ください。

- i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。
- ii) 発表会の資格が、所属主催学協会の規定または慣例に合致しない場合。
- iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合。

## アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム論文募集

土木学会コンクリート委員会ではかねてよりアルミナセメントコンクリートの施工指針について検討してまいりましたが、原案がおおむねまとまりましたので、主要部分の説明のためのシンポジウムを企画しました。その際アルミナセメントコンクリートに関する研究の発表をもあわせて行ないますので、論文提出希望者はふるってご応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催: 土木学会コンクリート委員会
2. 日 時: 1971年6月16日(水) 9.30~
3. 場 所: 土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目無番地/国電地下鉄四ツ谷駅際外壕公園内/電話 03-351-5138 番)
4. 論文内容: アルミナセメントコンクリートの研究に関するものとし、施工・管理に関連したものも含まれます。
5. 申込方法: 3月16日までに土木学会コンクリート委員会(東京都新宿区四ツ谷1丁目)に標題および論文概要(200字以内)をそえて申込んで下さい。原稿用紙をお送りします。
6. 原稿提出: 5月1日までに上記委員会に提出して下さい。原稿は学会指定のオフセット用原稿用紙を使用して下さい。原稿枚数は2枚とします。
7. 備 考: 施工指針(案)の主要部分は研究論文とともに印刷し、当日配布します。論文の採否は印刷物の頁数に制限もあるので、上記委員会にご一任下さい。応募数により論文発表は、総括報告方式で行なうこともあります。

論文はコンクリート・ライブラリーとして印刷いたしますのであらためて原稿を提出して戴く予定です。この採否も上記委員会にご一任下さい。

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1西2・劬銀ビル5階)  
電話 0122-251-7038

工程管理講習会

▶ 1月28日(木)~1月29日(金) ◀

1. 日 時: 1971年1月28日(木)~1月29日(金) 2日間 (9.00~16.00)
2. 場 所: 建設会館(札幌市北4, 西3) 9階大会議室
3. 参加料: 会員 1600円 一般 2200円 (テキストのみ1冊 600円)  
(テキスト代を含む)
4. 講演時間割
 

(第1日)	9.00~9.30	PERT 概論 (PERT の誕生・PERT による工程管理)
	9.30~11.30	矢線図作成 (基本的ルール・その他)
	11.30~12.00	所要時間決定 (各作業の所要時間決定)
	13.00~15.00	時間計算 (結合点時刻及び作業時刻)
	15.00~16.00	余裕時間 (全余裕と自由余裕クリティカルパス)
(第2日)	9.00~10.30	日程短縮 (指定工期におさまる工程)
	10.30~12.00	フォローアップ, その他
	13.00~15.00	MANPOWER スケジュール (山積み・山崩し)
	15.00~16.00	PERT/COST, CPM (その他電算機による計算)
5. 申込み: 氏名・所属・所在・会員区分を明記のうえ, 参加料を添えて (前納) 支部事務局へお申込みのこと。盛況予想につき早目にお申込みのこと。
6. 申込締切, 定員: 1971年1月20日, 定員 150名, 先着順締切。当日受けは原則として認めません。
7. 講師: (株)大林組土木本部工務部 大河内照雄  
同 機械計算部開発課 太田 順  
同 札幌支店土木部 荒木誠四郎

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル)  
電話 0222-22-8509

(1) 技術研究発表会

▶ 2月23日(火) ◀

1. 期 日: 1971年2月23日(火)
2. 場 所: 宮城県民会館3号室, 4号室(6階), 仙台市国分町 3-3-7
3. 定 員: 200名 参加費無料 (ただし講演概要集は希望者にのみ当日会場にて実費頒布)
4. 申込み先: 土木学会東北支部へ 2月21日までに勤務場所, 氏名を電話またははがきにてお申込み下さい。  
(連名可)
5. プログラム: 本誌 56 巻第2号でお知らせします。

橋梁の動的応答研修会

▶ 2月2日(火)~6日(土) ◀

主催: 日本鋼構造協会, 後援: 土木学会

1. 日 時: 1971年2月2日(火)~6日(土)
2. 会 場: 鈴鹿サーキットホテル (三重県鈴鹿市稲生町・電 05938-8-1111)
3. 受講対象者および定員: 大学卒で数年の経験を有する者 50名
4. 受講料: 一般: 45 000円 会員・官公庁・学校職員: 30 000円 ほかに一般・会員ともに宿泊料 17 000円 (5泊16食)
5. 申込締切日: 1971年1月29日(金) (ただし満員次第締切らせていただきます)
6. 申込先: 日本鋼構造協会・〒100 千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 848/電 (03) 212-0875
7. 補助テキスト: 下記の2冊を使用いたしますのでお持ち下さい。  
昭和42年7月土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会編  
耐風設計指針(1967) および同解説  
耐震設計指針(1967) 同解説および耐震設計詳説

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目  
土木学会総務課内 電話 351-4133)

(1) 講演と見学会—成田国際空港—

▶ 2 月 5 日 (金) ◀

1. 行 程:

- 9.30 京成電鉄 成田駅前集合
- 10.00~12.00 空港内事務所にて—講演—「国際空港情勢と成田空港について」 新東京国際空港公団工事局長 池田 迪弘
- 12.00~13.00 昼 食
- 13.00~14.30 成田空港建設状況見学
- 14.50~15.50 成田山新勝寺見学
- 16.00 京成電鉄 成田駅前解散

2. 会 費: 800 円 (バス代, 昼食代)

3. 定 員: 50 名

4. 申込方法: 参加希望者は 1 月 25 日 (月) までに, 氏名, 勤務先, 連絡先を明記し, 会費を添えてお申し込み下さい。

(2) 映 画 会

▶ 1 月 23 日 (土) ◀

- 1. 場 所: 木更津工業高等専門学校 (木更津市祇園 834)
- 2. 日 時: 1971 年 1 月 23 日 (土) 13.00~16.00 (予定)
- 3. 上映映画: 「東名高速道路」「礎」その他 (予定)
- 4. 共 催: 木更津工業高等専門学校  
入場無料, 一般の方も自由にご参加下さい。

▶ 関東支部刊行物

○土木建造物の新しい設計法

- 1. 動的解析による耐震設計 (岡本舜三)/2. 橋 梁 (田村浩一)/3. フィルダムの耐震性について (田村重四郎)/4. 土構造の地震時挙動 (石原研而)/5. 有限要素法の活用について (川本勝夫)/6. 地盤・基礎の構造物への弾塑性有限要素法の適用 (林 正夫)/7. 振動問題における応用例 (栗林栄一)/8. 割れ目を有する岩盤の解析 (飯田隆一)/9. 土構造における活用例 (伊勢田哲也)

B 5 判・349 頁・定価 3000 円 千 100 円・45 年 12 月発行

○土留工法—連続壁工法・アースアンカー工法—

B 5 判・153 頁・定価 1500 円 千 70 円・44 年 12 月発行

○シールド工法と沈理工法の施工上の問題点

B 5 判・267 頁・定価 1200 円 千 100 円・43 年 11 月発行

○新しい橋梁施工技術

B 5 判・150 頁・定価 1200 円 千 100 円・43 年 11 月発行

○建設工事合理化のための近代的管理手法の活用

B 5 判・132 頁・定価 1000 円 千 70 円・42 年 11 月発行

○舗 装

B 5 判・95 頁・定価 700 円 千 50 円・41 年 11 月発行

▶ 代金に送料を添えて前金で 土木学会 関東支部へお申込み下さい ◀

**中部支部行事案内** (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸3丁目1番1号 名古屋市土木局道路部建設課内 電 052-961-1111 内線 2464)

**昭和 45 年度研究発表会**

▶ 2月13日(土) ◀

1. 日 時: 1971年2月13日(土) 8.55~17.05
2. 場 所: 名古屋大学工学部土木工学教室 (名古屋市千種区不老町)
3. 講演題目および発表者: 土木学会誌第 55 巻第 12 号会告 10~11 ページ参照
4. 聴 講: 無料
5. 申込方法: 聴講希望者は 1月30日(土)までに勤務先, 連絡先, 氏名を明記のうえ, 土木学会中部支部へお申込み下さい。

▶テキストの頒布について

橋りょう工学講座 53 ページ 頒価 200 円 (送料無料)

8月21日開催いたしました技術講座の時に使用いたしましたテキストがありますので希望の方は上記金額を添えて中部支部へお申し込み下さい。

**関西支部行事案内** (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館 409号) 電 06-271-6686 振替口座 大阪 82599 番

(1) 講習会「構造物設計法の最近の進歩と問題点」

▶ 3月23日(火)~24日(水) ◀

1. 日 時: 1971年3月23日(火), 24日(水) 9.00~16.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター8階大ホール 電話 大阪 (06) 443-5321 番  
大阪市西区靱1丁目118番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角)
3. 題目と講師:
 

第1日(3月23日)		
	開 会 換 拶	土木学会関西支部長 福山真三郎
9.10~10.30	① 鋼構造の極限強度設計法	大阪大学教授工学部 工博 小松 定夫
10.40~12.00	② 構造物の最小重量設計法	大阪市立大学教授工学部 工博 倉田 宗章
13.00~14.20	③ 構造物の限界状態設計法	大阪大学教授工学部 工博 前田 幸雄
14.30~16.00	④ 構造物の立体解析法	大阪工業大学助教授 岡村 宏一
第2日(3月24日)		
9.10~10.30	⑤ 最適設計の概念と今後の問題点	京都大学教授工学部 工博 山田 善一
10.40~12.00	⑥ 骨組構造物の最適設計	愛媛大学助教授工学部 工修 大久保禎二
13.00~14.20	⑦ 耐震設計法の問題点	京都大学教授工学部 工博 後藤 尚男
14.30~16.00	⑧ 耐風設計法の問題点	京都大学助教授工学部 工博 白石 成人
	閉 会 換 拶	土木学会関西支部幹事長 岡田 清
4. 定 員: 300 名 (先着順)
5. 参 加 費: 会員 1700 円 (テキスト代を含む)  
ただし講習会当日は 2200 円となりますので期限内に前納して下さい。  
非会員 2200 円 (テキスト代を含む)
6. 申 込 期 限: 1971年3月5日(金)
7. 申 込 方 法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別を明記 (様式随意) し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申込み下さい。  
参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。  
参加証のない人は入場をお断りします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(2) 中堅土木技術者を対象とする懇談会 (第2回) ▶ 2月15日(土) ◀

都市計画に関する懇話会

(第1回) 都市交通の問題と未来展望

1. 日 時: 1971年2月15日(月) 13.00~16.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター4階405号 電話 大阪(06) 443-5321 番  
大阪市西区靱1丁目118(地下鉄四ッ橋線本町下車北へ150m 靱公園東角)

3. 問題点提起者および司会

開会挨拶 土木学会関西支部長 福山真三郎

問題点提起者 ① 大阪市における都市交通問題

大阪総合計画局計画部都市計画課計画係長 仙石 泰輔

② 未来の都市交通

大阪府企画部総合計画課交通計画係長 豊島 良三

司 会

京都大学教授工学部 工博 天野 光三

大阪市総合計画局計画部主幹 小林 幸蔵

土木学会関西支部幹事長 岡田 清

閉会挨拶

4. 定 員: 60名
5. 参 加 費: 無料, 参加歓迎
6. 懇親パーティ: 懇話会終了後, 懇親パーティを開催します(7階702号, 開会16時よりの予定)。  
参加費: 無料, 定員: 30名
7. 申 込 方 法: 懇話会のみ参加希望者は参加予定人員をはがきまたは電話にて, 懇親パーティ参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)し, 2月1日(月)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい(パーティ参加証をお送りします)。

(3) 第1回見学会(明日香地方見学会) ▶ 3月1日(月) ◀

1. テ ー マ: 開発と保存との調和
2. 見 学 先: 奈良盆地一帯(天理, 明日香, 奈良)
3. 期 日: 1971年3月1日(月)
4. 集 合: 3月1日9時15分までに阪神電鉄本社前(大阪中央郵便局西入 国鉄大阪駅西南)
5. 行 程: 9.30 阪神電鉄本社前発—武烈天皇陵・石上神宮・天理教本部—11.00 崇神天皇山辺道勾岡上陵  
11.30—景行天皇陵・箸塚・大神神社—12.00 明日香(徒歩約6km—橋寺・川原寺・石舞台古墳  
〔昼食〕飛鳥寺・甘槇丘) 14.30 発—久米寺・檀原神宮—唐古遺跡・法華寺—16.00 平城宮跡  
16.30—17.30 大阪駅着解散
6. 参 加 費: 1000円(昼食付)
7. 定 員: 50名(先着順)
8. 申込期日: 1971年2月12日(金)
9. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ参加費1000円を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(付) テキスト頒布について

近畿開発と大型土木プロジェクト	頒価 600円	送料 60円
写真測量とその応用	〃 1200円	〃 80円
プレストレスト コンクリート最近の進歩	〃 1200円	〃 80円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。



**西部支部行事案内** (郵便番号 810 福岡市薬院 2 丁目 14-21)  
 電 092-78-3716
**(1) 昭和 45 年度支部総会**

▶ 2 月 21 日 (日) ◀

1. 期 日: 1971 年 2 月 21 日 (日)
2. 場 所: 九州大学工学部防音教室
3. 議 題: ① 昭和 45 年度事業および会計中間報告, ② 来年度事業について, ③ 来年度支部長紹介, その他
4. 本掲載をもってご案内といたします。会員諸氏多数ご出席下さい。

**(2) 昭和 45 年度研究発表会**

▶ 2 月 21 日 (日) ◀

1. 開催期日: 1971 年 2 月 21 日 (日) 9.00 から
2. 会 場: 九州大学工学部防音教室
3. 発表時間: 1 題につき 15 分 (質問時間を含みます), スライドは使用できません。
4. 原稿提出:
  - ① 原稿はオフセット印刷とします。原稿用紙は支部に請求して下さい。
  - ② 原稿用紙は 1 枚 (1 ページ) 1620 字詰。1 題につき 2 枚とします。超過は 4 枚まで認めますが, 1 枚につき 1000 円を原稿と同時に送付して下さい。
  - ③ 原稿提出: 1971 年 1 月 25 日までに支部へ。
  - ④ 増刷 20 部さしあげます。それ以上必要の場合は, 原稿送付のとき部数を申出て下さい。実費申受けません。
5. 申 込 先: 福岡市薬院 2 丁目 14-21 千 810 土木学会西部支部 (電 78-3716)

**土木学会出版物のマイクロフィッシュフィルムによる複写と販売について**

土木学会では、かねてより学会出版物のマイクロフィルム化につき検討を進めてまいりましたが、このほど一部出版物をフィッシュフィルムに撮影、それを複写フィルムにコピーして希望者に販売することにしました。

マイクロフィッシュとは、土木学会誌 55-2 (昭和 45 年 2 月号) に紹介されているように、ハガキ大のフィルムの中に 60 ページの文献を収録でき、フィルムはマイクロフィルムリーダーによって拡大して読み取るか、必要によっては各ページを 5 秒間位でハードコピーにとることもできファイリングも楽です。それにとりなって製本保存の廃止による書庫スペースおよび製本費の節減、バックナンバーの補充、雑誌類の重複購入の防止などの利点があります。その反面、フィルムリーダーなど機器類の購入の必要性、フィルム取扱い上の若干の注意などの問題点もあり、個人のためよりも資料室、図書室など集団的な利用が中心となりましょう。

当面は土木工学科新設校等の希望を入れ、バックナンバーが比較的揃いにくいと思われる学会出版物からフィッシュ化を実施する予定です。検索に多くの利点を持ち、少量部数の出版にはコストの廉価なマイクロフィッシュによる出版を、皆様のご希望等により今後も引き続き企画したいと考えております。情報管理の合理化のため各位のご利用をお待ちいたしております。

## 記

1. 土木学会誌、論文集総索引 (創立 50 周年記念出版)  
 合計 252 ページ 5 シート 1,600 円 (送料とも)
2. 土木学会論文集 第 1 号 (昭和 19 年) より第 124 号 (昭和 40 年) まで  
 合計 8,000 ページ 206 シート 62,100 円 (送料とも)